

ケアセンター施設長 平田正雄施設長逝去

去る2月7日未明に、入院先であります千葉労災病院で平田正雄施設長がご逝去されました。平田先生は医学博士外科

医師として副院長までされた、古巣である千葉労災病院で、後輩の先生方に治療をしていただきながら息を引き取られました。大正15年生まれの享年92歳でした。

療養されましたが、その後も後遺症と闘いながら施設長の職を全うしていただきました。心より感謝申し上げます。ここに謹んでお悔やみ申し上げますと共に、ご冥福をお祈りいたします。



平田先生は、姉崎病院院長の岡賢了先生と千葉大学当時より旧知であり、そのご縁もあり当ケアセンター設立当初から施設長をお願いしてまいりました。途中、脳梗塞を患われ半年ほど



ケアセンター施設長 平田正雄先生を偲んで

平田先生と知り合いになったのは、私が肺研に昭和37年に入職させて頂いた2年ほど後の昭和39年頃だと思えます。木造の手術場で術後「膀胱瘻を作っておいて」といわれて戸惑っていた時、術式を教えてくださいました。

ていました。でも平田先生が私を気遣いかばってくださいました。私が昭和45年旭中央病院を辞めて東京品川で開業してからは手術の度に助けていただきました。手術をした日には夜遅くまで娘の尚子を膝に置いてお酒を召し上がり翌日おかえりになりました。もう40年前になります。

右麻痺で退職、その後は週3日ケアセンターでリハビリを兼ねて勤務されていきました。ですから60年以上の付き合いです。平田先生の人は、とにかく人を悪く思わない。偉ぶらない。努力家で、不屈の精神をお持ちで、自分も他人も人格を尊重する人でした。寄る年波には勝てません。

当時私は薬学部で分析化学教室で肺がんの手術で抽出された標本を少し頂いて、それを冷凍粉砕してその中の酵素を調べることが仕事でしたから、手術時には病棟にいました。病理の医師には標本を傷つけるので疎まれ

ました。もう40年前になります。平成8年、姉ヶ崎ケアセンター開設と同時に施設長を引き受けて下さり、私と二人で姉崎病院を作ってきました。しかし11年後、平成19年4月脳梗塞発症後、

私もお会いして思い出話したいと思えます。今まで本当にありがとうございました。

【姉崎病院 院長 岡 賢了】



デイケア ルームより



3月3日はひな祭りです。それに向けて今回の作品は「輪飾りおひなさま」です。揺れる飾りが可愛く仕上がりました。



掛け声も演奏もかっこいい！ ～2月の誕生会・節分～

2月3日は節分でした。ご入所の皆様には甘納豆を食べていただきました。「若いころ、よく食べたのを思い出したよ。とても甘くておいしかったよ。」とたくさん声をかけていただき、笑顔あふれる節分となりました。

誕生会では「青柳じょんがら会」のボランティアの方々にお越しいただき、津軽三味線による演奏、歌や踊りで約40分間、楽しませていただきました。利用者様からはまた見たいよ、と多くの笑顔が見られました。



良かったと思います。役立つかつお金の勉強を若い学生に教える機会をいただければと思います。普通は私のように必要に迫られたときに個人や家族で検討するのですが、こういう将来のときに教えてもらっていたら良かったと思います。

さらに現在の3種類の保険にも貯蓄型のものがあります。それらは保証した上で将来的にはほぼ全額戻ってくるものや支払額以上戻ってくるものもあります。知っているかどうかで将来の備えが全く違ってくるのです。普通は私のように必要に迫られたときに個人や家族で検討するのですが、こういう将来のときに教えてもらっていたら良かったと思います。

40代になり、母を亡くして漠然と今後の人生に不安を感じて生命保険を見直しています。国税庁によると平成24年元日以降の生命保険は①生命保険②介護医療保険③個人年金保険の3種類です。この3種類の保険はそれぞれ最高4万円（合計最高12万円）の控除が受けられます。つまり3種類の保険に入っていた方が毎年年末調整の控除がより多く受けられ、何かあったときにも安心なのです。

職員の一ひとり言
「今後の人生に不安を感じて」
介護福祉士 S T



3月 4月の予定

♪ 誕生会 ♪

- ◇ 3月7日（水）14:30～ 5階デイルーム
ムジカ・サンクチュエールの皆様にお越しいたします。
- ◇ 4月4日（水）14:30～ 5階デイルーム
彩の会の皆様にお越しいたします。



編集後記

いつも笑顔で声をかけて下さり、私たちに励ましてくださった平田先生。先生の寛大さと不屈の精神を教訓にし、ケアセンタースタッフ全員で、利用者様に寄り添ったケアをしていくこと、それが平田先生への恩返しにもなるのだと思います。先生、お空の上で見守っていてくださいね。（すこやか班一同）